

摂河泉 OB

NTT労組退職者の会・大阪支部協議会 発行責任者 鷲谷 憲
☎553-0003 編集責任者 小林 保
大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382

美しく健康、生涯いきいき

2年後の組織展望などを提起

支部協第三回定期総会を開催

退職者の会大阪支部協の第3回定期総会は10月28日コミュニティプラザ大阪で開催された。

議長に廣道襄代議員(南部)が選ばれ、今期で退任される大庵会長からの現退一致で会の発展のためにガンバローというあいさつに続き、NTT労組大阪支部岩橋執行委員長からNTTの現状と組合としての問題点、また、退職者の会の活動について年金、医療、介護などすべてが行政によることを思考し、地域と密着した運動を推進していくべきではないか等のあいさつが述べられた。

各来賓あいさつ後、田宮事務局長より、「1年間の活動を振り返って」および、組織問題の取り組みとして、2年後の第5回総会において新ブロックへの移行など、「退職者組織のあり方と今後の展望」をはじめとする、「2000年度の具体的な取り組み」の提案、



続いて規約改正、会計報告、会計監査報告、予算案が提起され承認された。

引き続き別記のとおり新役員が承認された後、今回退任の大庵会長、神田副会長、田宮事務局長、磯川、丸山、佐々木幹事、上本会計監査への感謝決議が満場の拍手で決定され、総会は閉会し気持ちも新たに新年度に向かってスタートを切った。

社会見学

と き 2月9日(金) ※雨天決行
集合時間 10時
集合場所 阪神電車・西宮駅南出口
人 員 50名まで(先着順で締切り)
行 先 日本盛 酒蔵通り煉瓦館
日本酒情報発信基地
参加申込 1月22日(月)
までに支部協へ
☎06-6451-8100



第5回囲碁大会

と き 2001年1月12日(金)
10時～
場 所 コンポ大阪談話室
参加申込 2001年1月9日(火)まで
段級位記し、「ハガキ」で
大阪支部協議会へ。
♣ 会員以外の方も参加歓迎します。
♣ 毎月2回、第2・4金曜日10時～16時
場 所 コンポ大阪談話室
初心者歓迎、やさしく指導します。

安心と信頼の 社会保障の確立を



第3回総会において会長に選出戴きました鷺谷でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

過日の国会で野党が提出した森内閣不信任案決議案に自民党の加藤紘一元幹事長が賛成するという事で、日本の政治も変わるのではないかと期待を持ちましたが、突然の欠席戦術で否決され失望したところです。所詮は自民党内の抗争にすぎなかったという結果です。

政治を変えるためには他力本願では駄目で、自力で森内閣を倒すしかないと感じているところです。来年の参議院選挙で民主党を中心としたリベラル政党が勝利することで、政治を変えたいと考えているところです。退職者の会も現退一致で精一杯戦いたいと思いますので、会員皆様方のご協力を是非お願いいたします。退職後の人生は、まず健康で元気であります。次にあらゆる面で安心して生活したい、そして楽し

い人生を送りたいと願っていると思います。

退職者の会が、これらの願いに少しでも貢献できるよう活動が続けたいと考えています。とりわけ、安心と信頼の出来る社会保障の確立に向けて、連合高退会と連携して現退一致の運動を進めたいと思っています。

次に、大阪支部協議会の組織についてですが、現在の職域ブロックから、地域型ブロックに再編していく必要があります。退職者の会員が、職域を中心にした連帯感を居住地においても築きたいと考え、第3回総会において、具体案を提起したところです。時間がかかるかも知れませんが、退職者の会の今後の発展のためには重要な事です。会員皆様のは是非とものご理解と、ご協力をお願いいたします。

来年は、いよいよ21世紀の始まりです。新しい時代が希望のもてる社会となるよう、退職者の会も新幹事一丸となってがんばっていきます。

会員皆様方がよいお年を迎えられるよう、お体をご自愛されまして、益々のご健勝とご多幸を祈念申しあげます。

NTT労働組合 退職者の会
大阪支部協議会 会長 鷺 谷 憲

21世紀へのスタート

高齢福祉の課題は 自助、公助、共助

退職者の会員ならびにご家族の皆様には、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げますとともに、日頃からのNTT労組へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。



先だって、大阪万博の時に埋められた『タイムカプセル』が開封されたと紹介されていましたが、万博の開催された1970年といえば、「電報から電話時代」への転換期でもありました。

今新しい世紀を目前に控えNTT事業は『電話屋から情報流通企業への脱皮』という言葉で象徴されるように、「電話からデータ・コンピュータ通信へ」と事業の変革期を迎え、現役の私たちは新たな、チャレンジをしているところです。

ところで、大阪万博と同時期に造成された「千里ニュータウン」が、当初入居世代の子供が独立別居し、老夫婦だけで暮らす「オールドタウン」となったという指摘があるように、高齢社会の到来は地方の現象だけではなく、都会においてもピンポイントで着実に進行しています。

誰もが等しく訪れる老い、人生の終焉を充実したものとするための高齢福祉の課題は、自助、公助、共助の3つの力を有機的に結合させることが重要であると認識しています。NTT労組では府下のいくつかの行政区で「居住者の会」を組織していますが、単なる交流・親睦の会から歩を進め、高齢社会における居住地での相互扶・共助活動が出来ないものかと模索を始めました。具体的には支部協幹事の皆様と相談しつつ、地域コミュニティにおける新たな展開を期すこととしていますが、退職者の会会員各位のご理解・ご協力をお願いします。

結びに、「第3回総会」において、大庵会長、田宮事務局長らが退任され、新たな幹事会体制を確立されました。結成期の活動をリードしていただいた退任役員の皆様に敬意と感謝を申し上げますとともに、鷺谷新会長をはじめ幹事会役員の皆様のご奮闘を大いに期待いたします。

迎える21世紀が会員ならびにご家族の皆様にとって幸多き時代となりますよう祈念申し上げ、大阪支部を代表してのあいさつとします。

NTT労働組合 大阪支部
執行委員長 岩 橋 栄

年間行事予定

第1回幹事会で下記のように年間行事予定を決定しました。
内容等はその都度「会報」で周知します。
多くの参加を期待しています。

十二月 会報 「摂河泉OB」 1号発行 	六月 一泊バス旅行 会報4号発行 
一月 賀正 	七月 社会見学 ハイキング (歩こう会) 共済書類発送 
二月 会報2号発行 社会見学 	八月 会報5号発行 共済督促作業 学習交流会 
三月 愛のカンパ ハガキ訪問 	九月 日帰りバスツアー 会報6号発行 ハイキング (歩こう会) 
四月 花見バスツアー 会報3号発行 学習交流会 ハイキング(歩こう会) 	十月 ハイキング(歩こう会) 定期総会 
五月 健康ウォークラリー スタンプラリー ハイキング(歩こう会) 	この他、ボランティア活動、 また各サークル活動があります。 毎月幹事会・三役会議を行います。

紅葉の穂高・白き湯の香り

—— 上高地と秘境白骨温泉の旅 ——

11月9日集合場所大阪城公園駅を、参加者43名定刻の8時に出発しました。

晴天にめぐまれ、紅葉が真っ盛りで、素晴らしい穂高連峰が見渡せ堪能いたしました。あづみの川に沿って、稲核ダム、水殿ダム、奈川渡ダムを経てトンネルを越え白骨温泉白根グランドホテルに着きました。

白き湯の香りの温泉につかり、旅の疲れをいやし、夜の宴会場に集まりました。鷺谷会長の挨拶、大橋事務局次長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。



おいしい料理に舌鼓、アルコールでほろ酔い気分になったころゲームを開始。カエデ、モミジ、キク、カキの4組に分かれ、100円玉の手渡しゲーム。一番早かったチーム、キク組の勝利で景品も出ました。次は司会の大橋さん、香呂さんを筆頭に数人がチャイナ服、竜刺繍の着物、舞妓さん模様の着物に着替え思い思いの踊りで盛り上がりました。最後は全員で河内音

頭の踊りでお開きになりました。宴会後は、月明かりの露天風呂でゆっくり温まりました。

2日目は上高地の散策、大正池で写真タイム、大正池畔からの穂高連峰の勇姿、地面に優美な姿を映す焼岳、河童橋から眺める景観、清らかな梓川の流れ、上

高地の美しさに魅了されました。

それから、高山板蔵ラーメン見学、試食、銀河高原ビール飛騨高山工場で見学、昼食、40種類のバイキング料理が用意され、ビールも試飲しました。銀河高原ビールのおいし

い秘密は高原に湧く、清冽な名水、北アルプスの伏流水を使用しているからだそうです。

昼食後は、東海北陸自動車道を走行して無事帰路につきました。いろいろとお世話してくださった東部ブロック幹事さんに感謝し、また楽しい企画をお願いいたします。

藤井 幸江

地球大気を科学する

暮らしの中の天気予報

と き 13年2月28日(水)
午後1時から4時半
と ころ コミュニティプラザ大阪 3階 ホール
講 師 気象予報士 武田 栄夫 氏
参加費用 無料
申し込み 電話でお申し込み下さい。
テルウエル大阪支部
☎(06)6214-0431
締め切り 13年2月20日

申し込み多数の場合は事前に締め切る場合もあります。テルウエル「なにわ大学」の受講生以外も多数参加して下さい。

公開講座参加募集!!

栄冠は油谷巖さん

9月27日、ゴルフサークル(ノースリバー)の第7回(通算33回)コンペは晴天のもと、亀岡スポーツ振興カントリーで32名の参加者で行われました。

優勝	油谷 巖	
2位	坂田 修造	
3位	西畑太司良	
BB	土屋 昭一	
DC	波多野雅代	宇山 隆章
	田村 敏夫	尾崎 和男
NP	宇山 隆章	田村 敏夫
	岩脇 長治	斉藤 文子

ゴルフコンペ成績

会員の文芸

どこの何様

太田 修

たいした病気にかららずに
高収入時は三万を越す
健康保険を四十二年
払い続けて
掛け損やけど
どこかで役に立ってんのやと
親に貰った丈夫な体
感謝を込めて
勤めを終える

六十年間働きつづけ
心臓・腎臓・肝臓も
傷んでくるのは当たり前
健康診断受けるたび
不安をいくつもかかえこむ
年金たよりのぼくたちを
迎えてくれたは

割高掛け金国民保険
高齢補助の切り下げ攻撃

経済学者も

マスコミさえも

これからは政府に頼らず
自立の時代が世界のトレンド
訳知り顔でのたまうが
ぼくらはいつも

自力で生きた

飯も食えない敗戦直後

裸一貫働きとおし

がむしやらすぎたが

とにかくも

今の日本は所得水準世界一

政府やらに

世話になった覚えはない

収めた税も一〇〇パーセント

源泉徴収前払い

えらそうに

ぼくらを論すあんた

いったいどこのなに様

この二年だけで

借金だらけの政府でさえも

年金・保険は掛け金増額

支給金額大幅減額

介護保険も新設されて

ぼくらの財布は縮んでばかり

要らないものは買えません

資源は有限

浪費は地球を汚します

身に付きはじめたりサイクル

飽食社会の反省を

育てるところか

浪費をおだてるあんた

いったいどこのなに様

家族に迷惑かけるのはいや

尊厳死宣言用意して

ボケナイためのウォーキング

万歩歩いて一息ついて

美山・美林は昔のはなし

せめて子供に百万なりと

残してやりたい親心

何やて一人六〇〇万

赤ちゃんさえも数のうち

世帯当たりで二四〇〇万

ぼくらの世代が子や孫に

残してやれるのは借金ばかり

ぼくらの汗の一生を

国債・地債に変えてもた

あんたはいったい

どこのなに様



連載(1) 糖尿病の現状について

中辻 千代子

糖尿病患者は全国で約690万人、さまざまな合併症を引き起こす糖尿病について三回シリーズで掲載します。

代表的な慢性疾患

1997年に厚生省の行った糖尿病実態調査によると、我が国における糖尿病の患者数は全国で約690万人、予備軍といわれる耐糖能異常者（糖尿病の可能性を否定できない人）も含めると約1,370万人になると報告されています。年代別には、60歳以上の男性が最も高く17.3%、40歳以上のほぼ10人に1人が糖尿病であることが示され、今や代表的な慢性疾患となっています。この調査結果ではその半数以上は治療を受けていないという実態も明らかになっています

4つの病型分類

1999年日本糖尿病学会は新しい病型分類を示し、1型、2型、その他の特定の機序・疾患によるもの、妊娠糖尿病であることの4つに分類されました。我が国では多くの方が2型糖尿病であることが報告されています。では、2型糖尿病はどうして起きるのでしょうか？糖尿病のほとんどは糖尿病にかかりやすい体質を持った人に、「過食、運動不足、肥満、妊娠、多量飲酒、ストレス」などの環境要因が重なり発症します。

糖尿病とは

血糖は膵臓から分泌されるインスリンの働きで細胞内に取り込まれ、エネルギー源として利用されたり、肝臓などに貯蔵されたりします。このインスリンが欠乏したり、働きにくくなって血糖を利用できなくなるのが糖尿病です。したがって、糖尿病は血糖の量が慢性的に多くなる病気で、これが永く続くと次第に血管や神経が悪くなり、腎臓や目、神経を始めとする全身のさまざまな部位に合併症を引き起こします。初期には自覚症状がないこともあり、発見が遅れたり、発見されても本人の自覚がなく放置されることが多く、症状が現れる頃にはかなり病気が進行しており、これを防ぐためには、定期的な血糖検査をおこなう必要があります。

診断基準が改訂

1999年に糖尿病の診断基準が改訂され、空腹時血糖値126mg/dL以上が糖尿病型と判定されることになりました。またヘモグロビンA1cも補助診断に加えられることは特筆すべきことといえます。

血糖検査は糖尿病の診断、治療に不可欠な検査であることから、近年小型・軽量で操作性に優れた血糖自己測定器が開発され、臨床に应用されています。（別表1）

今回は「糖尿病と食事」について

別表1 血糖自己測定 比較一覧表

アークレイ株式会社 高田 典彦 TEL: 075-662-8965

装 置 名	グルコカードα、 グルテストPRO	デキスターZⅡ	メディセーフリーダー GR-101	ノボアシストプラス	プレジジョン Q.I.D	アドバンテージⅡ
販 売 元	（株）三和科学研究所 アベンティスファーマ（株）	輸入元： バイエルメディカル（株） 販売元： バイエルメディカル（株）	製造発売元： テルモ（株）	輸入発売元： ノボルディスクファーマ	輸入・販売元： ダイナボット 販売元： 塩野義製薬	輸入元：ロシュ 発売元：ロシュ
測 定 範 囲	20～600mg/dL	10～600mg/dL	20～600mg/dL	0～500mg/dL	20～600mg/dL	10～600mg/dL
測 定 時 間	30秒	30秒	18秒	約30秒	20秒	約40秒
測 定 原 理	酵素電極法	酵素電極法	GOD-POD 比色法	GOD-POD 比色法	酵素電極法	酵素電極法
血 液 導 入	自動吸引	自動吸引	自動吸引	マニュアル点着	マニュアル点着	自動吸引
血 液 量	全血・3μL	全血・3～4μL	全血・4μL	全血・10μL	全血・3.5μL	全血・4μL
オートパワーオン	○	○	×	×	○	×
デ ー タ 記 憶	120テスト分	100テスト分	150テスト分	150テスト分	10テスト分	100テスト分
寸 法(mm)	56×14.5×97.8	66×25.4×81.3	125×16×47	86×19×60	48×14.5×97	63×21×89
重 量	60 g	100 g	60 g	102 g	40 g	80 g

能力評価から 成果・業績評価へ

大阪支部としてのこの秋一番の取り組みはなんと言っても、「新たな人事・賃金制度の確立」にむけた取り組みであろう。電電公社時代からこの間、数次にわたる「人事・賃金制度の見直し」を議論してきたところであり、何故、またぞろ、制度改革を行うのかとの先輩諸氏も多かろうと考える。

時代は今まさに「IT時代」のまっただ中に突入しており、情報産業を中心とした技術革新の速度は、日進月歩から秒進分歩へと加速している。

その背景の中でNTTの収入構造もこれまでの、固定電話に頼った業務内容では、成り立たなくなっているのが現状であり、それらに対応すべく、情報流通営業体制の構築に向けた構造転換を行ってきたところである。

また、一方で現行の、賃金制度の定期昇給は、右肩上がりの経済状況を前提に成り立っていたものであり、成熟期を迎えた現在の日本経済では、その維持が難しいとの側面も含んでいる。

上記のような、業務の変化、経済の変化に対応すべく、今回の人事・賃金制度の改革に向けては、労組が「雇用確保」の原点に政策提起を行っているものである。具体的には、現行賃金の年功的・固定的部分を縮小し、「能力」に対して行ってきた評価から、「成果・業績」に対しての評価へと変更し、それをダイレクトに賃金へと反映させていく。このことにより、チャレンジ意欲を高め、メリハリある制度を確立するとともに、事業の活性化を図り、安定した雇用を守ろうとの政策である。いずれにしても、この論議は12月13日に開催される中央委員会で決着を図ることとしており、大阪支部としても組合員の対話を密にした取り組みを経ながら期待に添う活動を目指している。

NTT労組大阪支部だより

マイライン紹介に ご協力下さい

2000年5月1日からスタートする「マイライン」については、ご存じでしょうか。

今はNTT以外の電話回線を利用するには、4桁の識別番号が必要でした。それを無くす変わりにあらかじめ加入者が利用する電話会社名を登録しておくのが、「マイライン」なのです。

いわば固定客をどれだけ獲得するかであり、1月10日より登録受付が開始されます。それにむけて、会員みなさんにNTTへ登録してもらえ親族や友人の紹介にご協力ください。

すでに他からも呼びかけがあると思いますが、退職者の会へ連絡くだされば、紹介用紙をお送りいたします。

私たちはNTT労組退職者の会の立場からも、NTTの回線を専属的に使用していくよう取り組みます。

電話会社固定サービス

マイライン プラス

ご登録された電話会社以外のご利用はできません。

平成13年1月10日 受付開始
平成13年5月1日 スタート!

なお、兵庫県に居住の会員さんには
兵庫支部協から要請依頼がありますので
ご協力方よろしくお願いいたします。

「仲間入りしました」

新入会員ご紹介

池堂健太郎	鵜沼美千子	柿ノ内良和
川行 良一	木村 隆男	小林 康男
塩野 義則	高橋 彬俊	土屋とみ子
中川 雅之	西村 雅寛	南 秀幸

ご冥福を祈ります

✓堀田 忠資	✓秦 昇	✓米田 博行
✓井上竹四郎	✓藤沢 薫	✓木下 節子
✓藤井満智子	✓内田 凡平	✓滝川 昌義
✓浜井 政子	✓井上 一夫	✓木俣 茂生
✓松本 義次	✓石崎 武志	✓重田 春枝

(合 掌)

【大阪支部協議会 役員名簿】

頑張ります よろしくお願ひします

会長
鷲谷 憲副会長
松山 誼数副会長
植村 正和副会長
古布 充副会長
木村 敏子副会長
太口 昭一事務局長
小林 保事務局次長
大橋 善一事務局次長(支部)
高瀬 泰幸幹事
玉谷 泰彦幹事
大串 チエ幹事
田中 豊幹事
佐々木照子幹事
山田 忠夫幹事
田中 康夫幹事
満塩 静夫幹事
森川伊津美会計監査
厨子 芳枝会計監査
上田 収会計監査(支部)
今城千加子支部責任者組織部長
小林 宗造担当職員
森島久美子顧問
大庵 芳運

【編集後記】

新年度第一号の会報です。新しい役員体制で年度内の行事予定も掲載してございます。会報も皆様のお力添えをいただきながら隔月六回の発行を続けてまいります。中央協会の賞を励みにさらに親しめる紙面を目指します。今年から一月発行を十二月に変更しました。レクなどの企画にも多くの会員の方々が参加していただくことを願っています。力強く二十一世紀の年への第一歩です。支部内にある退職者の会のデスクの様子が支部の好意で広くなり変わりました。机も増え書庫も購入できました。毎日の常駐のメンバーは皆さん話上手な方です。機会があればお立寄りくださって活動の一端にでも触れていただければ幸いです。穏やかな小春日和の早い夕暮れ淀川左岸の堤防から見ると北摂の山々は初冬のたたずまいです。下流の大阪市街のビル背景にあるうすく茜色の空ももう冬近しの風情です。暖冬の子報ですけど、きびしい冷たい風の日もあります。年末慌ただしい毎日です風邪に注意いつものように健康第一で二〇〇一年をお元気に迎えられますことを祈念します。毎回のことでありますが「摂河泉OB」に絶大な応援をお願いします。